

# 日本情報考古学会第41回大会のご案内

日本情報考古学会第 41 回大会を下記の要領で開催いたします。意義ある大会としたいと考えておりますので、皆さまのご協力をお願い申し上げます。会員はもとより、関心をお持ちの研究者・学生・一般の方々のご参加も広く歓迎いたします。お誘いあわせのうえ多数ご参加くださいますよう、お待ちしております。

日本情報考古学会第41回大会実行委員会

期日： 2018年10月13日(土)・14日(日)

会場： 青山学院大学 青山キャンパス（東京都渋谷区渋谷4-4-25）2号館 3階 232教室  
JR山手線、JR埼京線、東急線、京王井の頭線、東京メトロ副都心線 他「渋谷駅」より徒歩10分  
東京メトロ（銀座線・千代田線・半蔵門線）「表参道駅」より徒歩5分  
<https://www.aoyama.ac.jp/outline/campus/access.html>

後援： 青山学院大学文学部史学科

特別講演

## プロセス考古学と日本の古墳研究

10月14日(日)  
11:00-12:00

佐々木 憲一 先生 明治大学文学部教授

第1日 10月13日(土) 2号館3階232教室 13:00 開始、17:30 終了

13:00-13:10 開会式 挨拶：大会実行委員長 菅頭明日香

研究発表 1 13:10-13:30 考古学から見たホモ サピエンスの日本列島への渡来と拡散 第5報  
植木 武(共立女子学園名誉教授)

研究発表 2 13:30-13:50 群馬県藤岡市伊勢塚古墳の SfM/MVS による調査と分析  
青木 弘(公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団)

研究発表 3 13:50-14:10 尾張元興寺跡発掘調査業務における古代瓦の三次元計測  
目取眞有香(株式会社島田組)、安川賢太(同)、岡安光彦(一般社団法人由比ガ浜文化財保存修復研究所)

研究発表 4 14:10-14:30 ありふれた遺物の三次元計測・記録とその意義(続報)  
太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)、中園 聡(鹿児島国際大学)

研究発表 5 14:30-14:50 3D 技術を用いた考古遺物の活用について  
三瓶裕司(公益財団法人かながわ考古学財団 / 九州大学大学院)

休憩 14:50-15:00

研究発表 6 15:00-15:20 日本遺産をめぐる考古学的研究 (I)  
鈴木重治(元 同志社大学)

研究発表 7 15:20-15:40 弥生土器の形態および蛍光 X 線分析に基づいた遠隔地交渉の解釈  
中園 聡(鹿児島国際大学)、平川ひろみ(同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター / 鹿児島国際大学)、  
太郎良真妃(鹿児島国際大学大学院)

研究発表 8 15:40-16:00 千光寺における探査研究  
泉 吉紀(サレジオ工業高等専門学校)、酒井英男(富山大学)、野原大輔(砺波市教育委員会)

研究発表 9 16:00-16:20 静岡県富士宮市大鹿窪遺跡における地球電磁気学的研究  
菅頭明日香(青山学院大学)、酒井英男(富山大学)、永田悠記(富士宮市教育委員会)

研究発表 10 16:20-16:40 青銅の磁化研究の試み  
酒井英男(富山大学理学部)、菅頭明日香(青山学院大学文学部)、長柄毅一(富山大学芸文学部)

16:40-17:30 ポスターセッション

懇親会 18:00 ~

第2日 10月14日(日) 2号館3階232教室 10:00 開始、15:20 終了

研究発表 11 10:00-10:20 前方後円墳施工における基準点の標高について —五社神古墳の築造規格から—  
西村 淳(函館大学)

研究発表 12 10:20-10:40 礎石建物における遺構からの柱位置推定  
河嶋優輝(筑波大学大学院)

研究発表 13 10:40-11:00 土器胎土構造の二次元的・三次元的可視化と製作技法 —蛍光樹脂含浸法・画像処理・  
X 線 CT—

中園 聡(鹿児島国際大学)、太郎良真妃(同大学院)、平川ひろみ(同志社大学文化遺産情報科学調査研究セン  
ター / 鹿児島国際大学)

特別講演 11:00-12:00 プロセス考古学と日本の古墳研究 佐々木 憲一 先生  
明治大学文学部教授

12:00-12:30 総会・学会賞授与式

休憩 12:30-13:00

13:00-14:00 ポスターセッション

休憩 14:00-14:10

研究発表 14 14:10-14:30 弥生時代北部九州における受傷者の社会的地位  
中川朋美(岡山大学大学院社会文化科学研究科)

研究発表 15 14:30-14:50 造山・作山古墳と周辺古墳の埴輪の蛍光 X 線分析  
平川ひろみ(同志社大学文化遺産情報科学調査研究センター / 鹿児島国際大学)、中園 聡(鹿児島国際大学)、  
太郎良真妃(同大学院)、若松花帆(同)、春成秀爾(国立歴史民俗博物館)

研究発表 16 14:50-15:10 中国東北地区遼西地域の白音長汗遺跡における土器の編年分析  
楊 帆(鹿児島国際大学大学院)

15:10-15:20 閉会式

ポスターセッション (第1日 16:40-17:30 第2日 13:00-14:00)

研究発表 17 3D 計測データにもとづく後期旧石器時代石刃石器群の解析 (1) —考古学資料と実験製作資料を  
つなぐための多属性の検討—

野口 淳(NPO 南アジア文化遺産センター / 奈良文化財研究所)、千葉 史(㈱ラング)、横山 真(同)、渡邊 玲(早  
稲田大学大学院)、佐藤祐輔(仙台市縄文の森広場)、神田和彦(秋田市文化振興課)、小菅将夫(岩宿博物館)

研究発表 18 3D 計測データにもとづく後期旧石器時代石刃石器群の解析 (2) —R 言語による連続断面情報取得  
プログラムの構築と応用—

千葉 史(㈱ラング)、野口 淳(NPO 南アジア文化遺産センター / 奈良文化財研究所)、横山 真(㈱ラング)、渡邊  
玲(早稲田大学大学院)、佐藤祐輔(仙台市縄文の森広場)、神田和彦(秋田市文化振興課)、小菅将夫(岩宿博物館)

研究発表 19 ドローンによる西北九州地域の古墳・山城の空中撮影 —3D 化によるアーカイブ構築を目指して—  
堀江 潔(佐世保工業高等専門学校一般科目)、眞部広紀(同)、岡本 渉(名古屋大学宇宙地球環境研究所)

研究発表 20 若者の遺跡に関する認知度をめぐって  
若松花帆(鹿児島国際大学大学院)、石原茉奈(鹿児島国際大学)、遠矢大士(同)

- 宿泊は、各自でご予約下さい。
- 当日参加も可能ですが、会員/非会員にかかわらず、事前に学会HPの「[参加申込フォーム](#)」(または学会事務局宛にメール)でお知らせください。【お申込みの方は受付の簡略化・講演論文集等の確保等をいたします】
- 大会参加費 (『日本情報考古学会講演論文集』Vol.21 (通巻41号) 込み) 会員 2000円、非会員 3500円
- 懇親会(非会員も可)の場所・会費等詳細は、後日学会HP等でお知らせします。ぜひご参加ください。
- 第1日(土)は17号館1階カフェテリア「イチナナ」、1号館1階のセブンイレブンが利用できます。第2日(日)の昼食は各自ご用意くださるか大学周辺でお願いいたします。
- 詳細・変更等は学会HPで逐次ご案内します。必ずご確認ください。http://www.archaeo-info.org/
- お問い合わせ等は、学会事務局まで。必ずメールでお願いします。